



観音寺市議会だより

KAN-ONJI CITY COUNCIL No.13 2017.5.1



ミライエ

観音寺の輝く未来へ
市議会の動きをわかりやすくお伝えします



平成29年度予算決まる

一般質問から見える市の課題



平成29年度予算可決

予算審査特別委員会報告

一般会計 255億5千万円
(前年度比 40億3千万円減)

今年度の主な事業

にぎわいあふれるまちの創生への予算

●観音寺市民会館開館記念事業 8,000万円

開館に合わせ年間を通じた公演を開催(音楽系公演、文化系公演、舞台芸術系公演、TV公開収録、映画上映など)



●観音寺東公民館建設事業 1,431万円

現観音寺東公民館は老朽化が進んでいるため、旧観音寺東小学校跡地へ移転改築

●観光ビジョン策定事業 691万円

地域の観光資源を活かした観光振興を推進していくためのビジョンを示した観光基本計画を策定



●地域観光まちづくり事業

(地方創生推進交付金) 400万円

地域資源を活かした商品開発や販売、観光事業やPR事業などを行う観光まちづくり事業体の設立を支援

●公衆無線LAN整備事業 371万円

観光スポットにWi-Fiを整備するとともに公共施設にも導入することで災害に強いインフラ構築を推進

定例会が3月2日から29日までの28日間の会期で開かれた。提出された議案のうち、人権擁護委員の候補者の推薦および、工事請負契約の締結、財産の取得についての議案を初日に同意した。一般質問は、9日に会派代表(4人)、10日に個人(10人)が市政について質した。条例関係16件は各常任委員会、新年度予算など19件(追加1件含む)を予算審査特別委員会に付託し、審査した。最終日には、各委員会付託議案を原案のとおり可決した。また、教育委員会教育長の任命議案に同意した。

2月臨時会の概要

平成29年第1回臨時会は、2月6日に招集され、即日採決となった。

提案された平成28年度観音寺市一般会計補正予算(第5号)は、原案どおり可決となった。

主な内容

同報系デジタル無線整備事業を見直し、歳出予算を1億1,700万円減額した。

また、同事業の債務負担行為の限度額を2億5,788万円に変更した。

交通環境整備への予算

- **スマートインターチェンジ整備事業 500万円**
 中心市街地へのアクセス向上を図るため、高松自動車道と幹線道路を接続するスマートインターチェンジを整備するための調査費
- **中央七間橋線改築事業(七間橋工区) 3,654万円**
 都市計画道路(街路)中央七間橋線を整備 総事業費3億7千万円
- **のりあいバス運行事業 7,073万円**
 乗車時間の短縮や乗継ぎなどの利便性向上を図るため、伊吹線を除く路線を4路線から5路線に拡充



笑顔で子育てができるまちの創生への予算

- **就学前同時通園第2子・第3子以降幼稚園給食費無料化 740万円**
 就学前の子どもが同時通所・通園している第2子および第1子・第2子の年齢、保護者の所得に関係なく現に扶養している第3子以降の幼稚園給食費の自己負担部分について補助
- **保育士確保支援事業 350万円**
 保育士補助員が保育士資格を取得する際の受講料および教材費の補助、認可私立保育施設に就職した保育士の奨学金返済費用の補助、認可私立保育施設が保育士宿舎として借り上げた場合の賃借料の補助
- **子育て支援施設整備事業 3,028万円(平成28年度繰越事業)**
 子どもと保護者が安心して利用できる遊びと交流の場を提供、子育て支援センターを旧萩原小学校の校舎1階部分に整備、平成29年6月開館予定
- **観音寺中央幼稚園建設事業 2億533万円**
 柞田、豊田、一ノ谷幼稚園を統合し、観音寺中央幼稚園を建設



安心して住み続けられるまち、帰ってきたいまちの創生への予算

- **企業誘致推進事業 153万円**
 市内への企業誘致を推進し、雇用の拡大を図る(企業情報収集、企業訪問、新たな工業用地整備の検討)
- **空き家対策事業 1,600万円**
 空き家のリフォーム補助(上限額 改修:100万円、不要物撤去:10万円)、老朽危険空き家の除却支援を開始
- **同報系デジタル無線整備事業 2億5,794万円**
 戸別受信機設置のための無線送配信局の整備、希望世帯に戸別受信機を無償貸与
- **新船建造事業 1億5,209万円**
 ニューいぶき(H6進水)の老朽化に伴い、新船を建造
- **移住定住促進事業 745万円**
 移住体験事業補助、家賃補助などを総括的に実施
- **交流定住促進事業 757万円**
 婚活事業、域学連携事業、結婚新生活支援事業
- **新規就農者活動支援事業 516万円**
 50歳以下で就農開始3年以内の新規就農者の経営に必要な施設や機械整備に補助、市内に転入して10年以内の新規就農者の家賃及び住宅取得への補助



総務委員会報告

総務部関係2議案および政策部関係10議案を審査

意見があった議案

- 議案第3号観音寺市情報公開条例の一部改正について
- 議案第4号観音寺市個人情報の保護に関する条例等の一部改正について
- 議案第5号観音寺市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について

以上3議案は、法律の一部改正に伴い、関係規定を整備するもの

主な意見

議案第3号について、個人特定できるものを実際に情報保護はできるのか。今後どれだけお金がかかるかわからない。議案第4号については、保護される対象が非常に詳細になって危うい感じを受ける。議案第5号についても、個人番号の利用について、秘密が本当に保持できるのか、また、将来ビジョンがわかりにくい、という反対意見があった。

審査の結果、10議案は原案のとおり可決すべきもの、2議案は同意すべきものと決定した。

文教民生委員会報告

- 健康福祉部関係3議案および教育委員会関係3議案を審査
- 審査の結果、6議案とも意見はなく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

文教民生委員会視察報告

日程 2月13日

場所 香川県高松市 ミライエ

子ども子育て施設として、平成28年11月23日にオープンした「たかまつミライエ」の運営状況を視察。

開館2カ月余りで約2万9千人の来場者があり、子どもから大人まで楽しめる総合施設となっている。

親子で遊べるプレイルームでは子どもたちの賑やかな笑い声が響いていた。

こども未来館・夢みらい図書館・平和記念館・男女共同参画センター、4つの機能を持った6階建ての複合施設





大賀 正三
自民新政会

市長の政治姿勢を問う

答 弁

行政の継続性は大切なファクター、今秋の選挙に挑戦する所存

〔質問〕

深刻化する人口減少、少子高齢化問題に果敢に取り組み、西讃地域の中心都市であり続けられる「強い観音寺市」を創っていくために、平成30年度からの新たな総合振興計画を策定する中で、課題解決に向けて大胆な施策を打ち出したいという強い決意が伺えるが、行政の継続性を考えたとき、今秋に任期満了する立場として、どのように考えているのか所信を問う。

〔答 弁〕 政策目標である持続可能な都市づくり、コンパクトシティ構想の大枠は、皆様のご理解とご協力により一定のエリア内に集約できた。

しかし、人口減少、少子高齢化が益々深刻化する中で、市民の皆様のご意見を真摯に受け止め、完成したインフラを活用しさらに発展充実させることが重要と考えている。ハード、ソフト両面で課題は山積しており、その課題に取り組むためには行政の継続性は大切なファクターであると思う。幸いにも体力、気力ともに充実しているので、市民の皆様のご理解が得られるのであれば今秋の市長選挙に挑戦していく所存である。



五味 伸亮
立志会

周辺市との連携強化を提案

答 弁

定住促進、観光振興につながる事業に取り組みたい

〔質問〕

人口減少が加速する中、周辺自治体との連携は重要な施策であると考えている。文化やスポーツを通しての市民間交流や、中小企業振興を目的とした企業間、行政間の連携、移住・定住施策の連携など広域経済連携を提案してきたが、新年度の具体的な新規施策が無いというのは残念。地の利を生かした市の大きな戦略として、より強力に取り組むべきと考えているが、方向性や具体的な考え方を伺う。

〔答 弁〕 今後、婚活イベントや移住定住促進事業、三豊市との合同企業説明会などの事業を継続するとともに、周辺圏域での観光振興や定住人口の増加につながる事業について取り組んでいきたい。

新市民会館の商圈の拡大を提案

答 弁

周辺市と連携し、さらに魅力的な事業を協議

〔質問〕

人口減少や時間距離の縮小などを鑑み、四国のまん中の文化拠点としての位置づけや、広く設定した商圈が大事であると考えている。芸術祭と併せた四国まん中映画祭等、四国の中心を担う文化拠点地域を確立することが必要と考えるが、市の考えを伺う。

〔答 弁〕 周辺市との連携によりさらに魅力的な事業となる可能性について指定管理者とともに協議していく。市内はもとより広く県内外を圏域と捉えており、周辺市に対し集客や貸館の案内などを行っている。



安藤 忠明
公明党

本市の芸術文化の振興策は

答 弁

新市民会館の愛称を「ハイスタッフホール」と決定、文化芸術の発信拠点としたい

〔質問〕

待望の新市民会館の開館準備は。

〔答 弁〕 開館までの4年間は、市民の皆様に変不便をおかけした。すべてに万全の態勢で開館を迎えるための準備に取り組んできた。昨年末にはネーミングライツの募集を行い、スポンサー企業として、栗井町のヤマダ工芸を選定し、愛称を「ハイスタッフホール」と決定した。

また、綴帳は、ふるさと納税を通じての寄附者がおいたので、新年度に発注して、半年くらいかかるかもしれないが、設置できる見込みである。なお、チケットの申し込み電話については、回線を3本にして対応しているが、良い席を求めて電話が長くなり、なかなかつながらない状態になっている。

この新市民会館を観音寺市の文化芸術の発信拠点とし、教育や経済などの様々な分野と連携し、本市の文化芸術の活性化を図るとともに、新たな活動や交流などを創出し、まちの活性化に繋げていきたいと考えている。





大平直昭
友志会

ふるさと納税の状況
は

答 弁 平成29年2月末現在で、
寄附金額4,847万円

【質問】 ふるさと納税の今年度の状況と次年度の取り組みを伺う。

【答 弁】 平成29年2月末現在で、寄附件数2、416件、寄附金額が4,847万円となっており、平成27年度（1,242万円）の約4倍に増えた。寄附金額の増加を図るため、市内事業者にふるさと納税制度の周知と、返礼品の登録に向けた取り組みを推進し、返礼品のさらなる充実を図っていく。

農地の貸し借りを進めるため、
もっと「全国農地ナビ」の活用を

答 弁 利用しやすい環境づくりと、
分かりやすい情報提供に努める

【質問】 「全国農地ナビ」において、貸したい農地の登録が少なく、少し使いづらいので改善が必要では。また、多くの方に活用してもらえよう、もっと周知を。

【答 弁】 「全国農地ナビ」は、全国の農地情報をインターネットで閲覧や検索ができるシステム。現在、貸付希望者全員の意向は反映できておらず、順次公開を進め、利用しやすい環境づくりと、農家を対象に分かりやすい情報提供に努める。



茂 諛問

観音寺陸上競技場の
使用規定は

答 弁 多くの方々に利用して
いただけるよう整備する

【質問】 4月から観音寺市陸上競技場が市民待望の全天候型競技場になり、三種公認陸上競技場として全国に発信できる施設になり大変嬉しく思っている。これからは好記録の出る期待や合宿の誘致が期待されている。また市民の健康増進の拠点として幅広く利用することが期待されている。車椅子の人のためのレーニングや一般の人々のウォーキング、ジョギングなど幅広く活用できる競技場になるためにも試合が行われていない時間帯は無料開放して多くの人々に活用して欲しいと願っている。当局の見解を伺う。

【答 弁】 無料開放については、全天候型舗装の保護、管理及び状態をふまえ研究していく。また、現在設置している陸上競技場周辺や野球場周辺などのウォーキング、ジョギングコースについては、案内板の設置やコースの見直しなど、より多くの方々に利用していただけるよう整備していく。



大久保隆敏

旧大野原町の農業を
生かしたまちづくりを

答 弁 農業経営の安定化を図るた
め圃場整備を推進

【質問】 今日厳しい農業情勢であるが、旧大野原町はまだまだ農業が健在だ。特に意欲を持った若者が多くいる。そこで旧大野原町のまちづくりは農業を活かすべきと思うが。

【答 弁】 大野原地域には若い担い手農業者が多く、法人も市全体の半分を占めている。これから法人や担い手農業者が今後の大野原地域の農業はもちろん本市農業の振興・発展のための大きな力になると思う。従って、大野原地域の法人や担い手農業者の農作業の効率化、経営の安定化を図れるよう地元土地改良区と連携・協力し、農道や農業用水路の整備、圃場整備など土地基盤の整備に取り組んでいきたい。そして平成29年度において市内17土地改良区を個別に訪問し、圃場整備の重要性や事業説明を行い、圃場整備を推進していく。また、圃場整備の相談がある地区については、協議に参加し、香川県と連携を図り、圃場整備実現に向け努力する。





立石 隆男

今後の公共施設の維持は

答 弁 統廃合や機能の集約化などを進めていく

〔質問〕 県有施設の県民1人当たりの年間更新費用は、2040年には、2016年の30%増になるといわれているが、市有施設の推計は。

更新・修繕・改修費用と支出可能額はいくらか。

〔答 弁〕 2015年度から30年間の更新費用の推計に基づく市民1人当たりの年間公共施設更新費用は、93,000円であり、人口推移を考えると、2040年には20%の負担増となることが予測される。

現在の建築物を全て保有した場合の維持・更新費用は、毎年24億3千万円の一般財源が必要で、充当可能財源は20億円とみている。

将来にわたり、現在と同量の公共施設を維持し続けていくことは難しい状況で、市民の理解を得ながら、統廃合や機能の集約化などを進めていく。

情報管理は大丈夫か

答 弁 個人情報保護の保護に向けセキュリティ対策を実施する

〔質問〕 市の業務とICTについて伺う。

〔答 弁〕 学校教育におけるデジタル教材の導入や市民の利便性の向上および業務の効率化を進めるため、さまざまな分野でICTの推進を図っていく。また、併せて個人情報の保護に向けセキュリティ対策を実施する。



篠原 重寿

人にも動物にもやさしい市政を

答 弁 動物愛護と適正な管理の啓発に努める

〔質問〕 日本人の3人に1人は、「癒し」などを求め、ペットを飼っている。社会問題化している「犬猫の殺処分」を減少させることを通じ、「命」の大切さを広げる取り組みを問う。

〔答 弁〕 改正動物愛護法は、「飼い主が責任を持ち、動物を飼うこと」を義務付けている。動物愛護の意識高揚を図るとともに、犬猫の不必要な繁殖防止のため、去勢・避妊手術への助成を導入。

「イクボス宣言」で「仕事と家庭の調和」への環境づくり

答 弁 育児関係の休暇や休業の取得向上に、職場環境を整える

〔質問〕 「仕事と家庭の両立しやすい職場」は、優秀な人材確保・育成・定着につながり、「少子化」に抗する施策。提案の「イクボス宣言」は、県内外の首長が発信しているが検討する考えは。

〔答 弁〕 育児に関する法改正の趣旨に沿い、働きやすい職場環境整備の条例を提案している。特に、男性市職員の育児に関する休暇や休業の取得をサポートする体制づくりに努める。



石山 秀和

新市民会館の駐車場の運営について質す

答 弁 利用の制限・禁止行為に對しては、厳しく対応する

〔質問〕 議会側として「無断駐車」に対しては断固たる態度をとるよう要望したが、具体的管理について伺う。

〔答 弁〕 市営駐車場は、使用料を無料にしたことにより目的外使用の可能性があるが、制限・禁止行為に対しては、5箇所の注意看板設置、利用時間外の門扉での締切、時間外の駐車車両の記録、貼り紙での注意喚起と常習者に対する警察への通報等を行い、最終的にはレッカー移動を含めた適正な対応を取る。

〔質問〕 駐車場が満車になると入退出でかなりの混雑が予測されるが、その対策について伺う。

〔答 弁〕 大規模な催しを開催する際は、主催者による誘導員の配置や出庫時の退出経路を市民会館駐車場、市営駐車場それぞれ一方に限定する対策を行っていく。また、周辺の商店街などに人の流れが出来るような仕掛けを指定管理者や関係団体とともに検討していく。

〔質問〕 「カノン会員」の現状について伺う。

〔答 弁〕 カノン・メンバーズクラブ会員数は、2月28日現在2,115人であり、男女別では、男性815人、女性1,300人、70歳以上のシニア会員888人、一般会員1,227人となっている。なお、地域別では、市内1,893人、市外202人、県外20人となっている。





豊浦孝幸

各種団体の連携支援について

答 弁

つながりの輪を広めるため、
お互いが理解し、協力し合
える環境づくりの支援を行う

〔質問〕

自治会を始めNPO、ボランティア団体が日々地域づくり、まちづくりに熱心に活動されている。大変篤志心が熱く頭の下がる思いである。個々団体間の横の連携がとれば同じ内容の事業は協力して開催できるし、団体へどうしの交流が進み、より新しい事業もできるのではないか。また、新しい組織と旧の組織の連携を推進し、それぞれの情報共有が必要と思うが、市の考えを伺う。

〔答 弁〕

地域の住民で構成する地縁の組織である自治会、専門分野の知識やノウハウを持つ有志が集まった支援の組織であるNPO法人など、目的や性格は違うが、より良いまちづくりや地域の人のために活動されていると思う。連携や情報共有することができれば、それぞれの組織が高め合えると思う。

本市としても、つながりの輪を広めるため、お互いが理解し、協力し合える環境づくりの支援を行っていききたい。



高橋照雄

防災行動計画（タイムライン）の策定を提案

答 弁

タイムラインを策定し、
災害対応力の向上を目指す

〔質問〕

昨今の異常気象とも云うべき自然災害、強大台風、ゲリラ豪雨、地震、津波等に対応する防災対策として、本市のように河川が多く、その周辺に公舎や民家が多くある地域にはタイムライン（防災行動計画）の整備が必要と考えるが、市の考えを伺う。

〔答 弁〕

タイムラインとは、災害の発生を前提に防災関係機関が連携して災害時に発生する状況をあらかじめ想定し共有した上で「いつ」「誰が」「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画と定義されている。タイムラインの導入による効果として、「実務担当者が先を見越した早め早めの行動ができ、意思決定者は不測の事態の対応に専念できる」「防災行動の抜け、漏れ、落ちを防止できる」などの点が挙げられている。本市においても、今後、被害の最小化を図るためにタイムラインを策定し、防災行動を迅速に実施するなど災害対応力の向上を目指して、取り組んでいく。



友枝俊陽

婚活支援事業の現状と成果は

答 弁

一定の成果はあるものと
考えられる

〔質問〕

どこの自治体も晩婚化と少子高齢化の影響は大きく積極的な取り組みがされているが、本市の婚活支援の現状と成果は。

〔答 弁〕

大豊商工会が22年度から「はるこい」、観音寺商工会と大豊商工会の共催で23年度から「クリスマス集い」を開催。27年度から四国中央市、三好市、本市で構成する「四国まんなか交流協議会」主催で「四国まんなか愛イベント」を、28年度からは大豊商工会が年間を通して結婚支援を行う伴走型婚活支援事業「ちかこん」を開催している。これまでに125組のカップルが成立し、うち9組が結婚に至った。これからも継続して支援していきたい。

仲人事業や相談体制の整備に取り組んでは

答 弁

ENI-MUSUががわに本市
も協力団体として登録している

〔質問〕 市が仲人さんを任命し男女の紹介を行ったり、相談体制を整えるなどの事業に取り組んでいる自治体もあるが本市も取り組んでいるか。

〔答 弁〕

「縁結び」などの結婚支援事業については、香川県が、かがわ健康福祉機構に委託し28年度から「かがわ縁結び支援センター」を開設し実施している。市内の結婚を希望する独身者に対し「かがわ縁結び支援センター」を広く周知することにより成婚者の数を増やしていきたい。



藤田 均

就学援助の改善について本市の現状は

【答 弁】 支給時期は中学は入学前に早める

【質問】 「ランドセルや制服などと就学援助とが、かけ離れている」と援助単価の引上げが求められていたが。

【答 弁】 入学準備金は平成29年度から、小学校で40,600円、中学校も47,400円に増額予定。支給時期は、来年度中学校入学者から、入学前の3月に変更予定。

標準保護世帯についても国の基準に合わせる。国の基準以外にも小学校の「PTA会費」、中学校の「クラブ活動費・生徒会費・PTA会費」を新たに追加予定。



防災意識の向上の取り組みをどう継続するのか

【答 弁】 防災情報の広報への定期掲載を検討する、地震災害の資料の常設展示を研究する

【質問】 防災に関する啓発は繰り返すことが重要で、「広報」連載や、昔からの災害を学ぶ必要があるではないか。

【答 弁】 紙面の許す範囲で防災情報を掲載する。防災常設展示は先進地の事例を研究する。自主防災組織が訓練を行う際には、要支援者も参加する必要性を啓発していく。



伊丹 準二

介護施設への入所について

【答 弁】 入所者の実情により対応している場合も

【質問】 介護施設への入所希望はどの程度満たされているか。実際にベッドが空いているのに、目的が異なるからと、入所できぬまま、お亡くなりになった方のお話を聞くと『どうにかならぬか』と思わざるを得ない。

使用目的はショートステイとなつていて、から、と約予定規にならずに、実情に合った運営ができないか。

【答 弁】 運営は施設が行っており、市が施設を紹介しているわけではない。入所者の実情により、ベッドの使用目的に関わらず、ロングショートとして施設側が対応されているケースもある。

公共施設の配置について

【答 弁】 市全体を俯瞰し総合的に進めたい

【質問】 合併後12年目を迎え、この間の公共施設整備の印象が、旧市内に新築、周辺は改修で対応している印象を持つ。

市民がひと目でわかるような公共施設の建設計画を示すことができないか。

【答 弁】 施設整備は、築年数・老朽化などを考慮し、計画的に行っている。今後の人口減少を受け、施設20パーセント削減を目標としている。農地や農業生産・流通施設等にも多額の国費、県費、市費を投入しており、全市的なバランスに欠けるとは考えていない。今後合併したひとつのまちとして、ハード、ソフト両面から強い観音寺を目指したい。

6月定例会を傍聴してみませんか？

本会議では、市長部局から提案のあった議案の質疑や審議、議員の一般質問など、市民生活に直結した問題が議論されています。ぜひ議場までお越しください。

なお、ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。(☎23-3913)

掲載できなかった一般質問

代 表 質 問

3月9日(木)

氏 名	質 問 件 名
大賀 正三 (自民新政会)	● 施政方針について ● 平成29年度新規および重点事業について
五味 伸亮 (立志会)	● 防災について ● 障がい児支援について ● 消防団について ● 中小企業振興について ● 観光について ● 農業振興について ● 郷土愛を育む教育について

氏 名	質 問 件 名
安藤 忠明 (公明党)	● 施政方針について ● 地方創生について ● 財政と予算について ● 産業の振興について ● 防災について ● 福祉について ● 教育について
大平 直昭 (友志会)	● 施政方針について ● 公共交通について ● 地域包括支援センターについて ● 保育所の入所について ● 教育施設の整備について

個 人 質 問

3月10日(金)

氏 名	質 問 件 名
詫間 茂	● 讃岐っ子の健康について ● 老老介護について ● 健康ポイント制度について ● 新市民会館の活用について
篠原 重寿	● 施政方針について ● 介護保険について
石山 秀和	● 新規事業について ● 空き家対策について ● 移動手段の利便性向上策について
豊浦 孝幸	● ふるさと納税について ● アニメコンテンツを活用した地方創生事業について

氏 名	質 問 件 名
高橋 照雄	● 財政について ● 地方創生について ● 観音寺市公共施設等総合管理計画について
友枝 俊陽	● 道路整備について ● 住宅密集地での火災対策について ● 公園整備について
藤田 均	● 施政方針について ● 介護保険の認定と認定調査員について ● 介護保険の保険料・利用料の減免について ● 受動喫煙防止対策について
伊丹 準二	● 新市民会館開館について

議案の審議結果 平成29年第1回(2月)臨時会

●全会一致の議案

議案番号等	議 案 名	議決結果
議案第 1 号	平成 28 年度観音寺市一般会計補正予算(第5号)	原案可決

議案の審議結果 平成29年第2回(3月)定例会

●全会一致の議案

議案番号等	議 案 名	議決結果
議案第 2 号	観音寺市附属機関設置条例の一部改正について	原案可決
議案第 6 号	観音寺市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の制定について	〃
議案第 7 号	観音寺市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正について	〃
議案第 8 号	観音寺市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	〃
議案第 9 号	観音寺市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	〃
議案第 10 号	観音寺市長及び副市長の給料の特例に関する条例の一部改正について	〃
議案第 11 号	観音寺市教育委員会教育長の給料の特例に関する条例の一部改正について	〃
議案第 12 号	観音寺市税条例等の一部改正について	〃
議案第 13 号	観音寺市福祉年金条例の一部改正について	〃
議案第 14 号	観音寺市子育て支援センター条例の制定について	〃
議案第 15 号	観音寺市観音寺共同福祉施設条例の一部改正について	〃
議案第 16 号	観音寺市働く婦人の家条例の一部改正について	〃
議案第 17 号	観音寺市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	〃
議案第 18 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同 意
議案第 19 号	工事請負契約の締結について	〃
議案第 20 号	財産の取得について	〃
議案第 21 号	平成 28 年度観音寺市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第 22 号	平成 28 年度観音寺市施設貸付事業特別会計補正予算(第2号)	〃
議案第 23 号	平成 28 年度観音寺市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃
議案第 24 号	平成 28 年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第 25 号	平成 28 年度観音寺市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	〃
議案第 26 号	平成 28 年度観音寺市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第 28 号	平成 29 年度観音寺市施設貸付事業特別会計予算	〃
議案第 29 号	平成 29 年度観音寺市国民健康保険事業特別会計予算	〃
議案第 30 号	平成 29 年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計予算	〃
議案第 32 号	平成 29 年度観音寺市介護保険事業特別会計予算	〃
議案第 33 号	平成 29 年度観音寺市航路事業特別会計予算	〃
議案第 34 号	平成 29 年度観音寺市栗井財産区特別会計予算	〃
議案第 35 号	平成 29 年度観音寺市栗井坂瀬山林特別会計予算	〃
議案第 36 号	平成 29 年度観音寺市公共下水道事業特別会計予算	〃
議案第 37 号	平成 29 年度観音寺市農業集落排水事業特別会計予算	〃
議案第 39 号	平成 28 年度観音寺市一般会計補正予算(第7号)	〃
議案第 40 号	教育委員会教育長の任命について	同 意

●賛否の分かれた議案

※議長は可否同数の場合のみ裁決権があります。 ※○…賛成 ●…反対

議 案 名 等	議員名	豊浦	篠原	友枝	井下	詫間	藤田	五味	篠原	立石	伊丹	安藤	大平	井上	大矢	大賀	秋山	石山	安藤	大久保	高橋	議決結果
		孝幸	和代	俊陽	尊義	茂	均	仲亮	重寿	隆男	準二	康次	直昭	浩司	一夫	正三	忠敏	秀和	忠明	隆敏	照雄	
		自民	自民	自民	自民	自民	共産	立志	社民	自民	自民	自民	友志	友志	自民	自民	自民	公明	公明	立志	立志	
議案第 3 号	観音寺市情報公開条例の一部改正について	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 4 号	観音寺市個人情報の保護に関する条例等の一部改正について	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第 5 号	観音寺市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第 27 号	平成 29 年度観音寺市一般会計予算	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	〃
議案第 31 号	平成 29 年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第 38 号	平成 29 年度観音寺市水道事業会計予算	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃

※自民…自民新国会 立志…立志会 友志…友志会 公明…公明党 社民…社会民主党 共産…日本共産党



議会だより
ミライエ

表紙の写真募集



テーマ 観音寺市（四季折々の風景や行事など）

応募資格 市内に在住の方

応募方法 郵送またはEメールで、写真か写真データ（1人1点）と、住所・氏名・電話番号・作品のタイトル・返却希望の有無を明記の上、議会事務局までお送りください。

締切 平成29年6月30日（金）
議会だより発行は8月になります。

選考方法 応募作品の中から1点を決定し、掲載します。
※採用された作品の使用権は、観音寺市議会広聴広報委員会に帰属します。
また、使用に当たり加工させていただく場合がありますので、ご了承ください。

応募先 〒768-8601 観音寺市坂本町一丁目1番1号
観音寺市議会事務局 宛
電話 （0875）23-3913
E-mail gikai@city.kanonji.lg.jp
くわしくは、ホームページをご覧ください。皆さまのご応募お待ちしております。



視察に 来てくれました

- ◆滋賀県近江八幡市議会
「新庁舎建設について」
- ◆京都府綾部市議会
「議会運営・議会改革について」

23日	19日	16日	15日	12 ～ 13日	5日
本会議	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	本会議（一般質問）	本会議

6月定例会の予定

新年度の予算が出来上がりました。市民のために、様々な事業が行われます。その内容を審議する3月定例予算議会でした。教育長の交代人事も同意しました。

この議会だよりには、具体的な内容や質疑などが紹介されています。ご覧いただいて、ご意見やご要望を寄せていただきたいと思います。

編集後記

藤田 五味 友枝 立石 詫間
均 伸亮 俊陽 隆男 茂

委員長 安藤 忠明
副委員長 大矢 一夫

広聴広報委員会